【刊休曜月・刊日】昭和25年(1950) 8月31日（木曜日）第85号　磐城毎日新聞　可認物便郵種三第日6月7年25和昭　(一)

主食の輸送と不正乗車
ますく増える傾向

平驛鐵道公安室では七月以近では一回七俵から十俵は小學校では明一日午後一時二降グット増えた主食類の列降らない、卅日午前一時二より同町金坂プールで町内車輸送とこれにともなう乘十分平驛着上り上野行列車煙草耕作面積割當に關する車券の二重、三重使用の取一箇約十俵を押收して居る協議を行ふ
り締りに當つてゐるが、當のヤミ屋連中もそこは心得たもので仲々尻尾を出さずほとほと手をやいてゐる、特に米類のヤミうん搬は益々增加する傾向にある、五、六月頃までは一回の列車の取締りは益々强化すると取り締りにせいぜい五、六俵と言つた程度のところ最

煙草耕作面積割當協議

專賣公社郡山地方局では卅一日午前九時から管內の所長並に煙草耕作連合會長會議を開き昭和二十六年度の煙草耕作面積配當に關する協議を行ふ

夜明けも知らず
踊りで賑ふ平市の盆

舊盆を迎えた平市內は二十社後援の平光畫會撮影會に七日から三日間お國自慢參加した平料藝組合傘下の盆踊で大にぎわい、ます美人連が紺のおそろいのハ二十七日は午後一時から本ツピ、股引にカツラと言ふ

抑留同胞救えと
募金募集に市民の熱意

この程結成した海外抑留同胞救出國民運動平支部では去る廿八日から運動資金造成のため民生委員が主体となり市內各戶から募金を行つてゐる、一戶一円以上で幾歲も迄る異國の丘の同胞の身を案じ、亦これ等待ちわびる家族の心情を察する情の基金は以外に好評をもつて迎えられてゐるその內でも下平窪字六角四村瀨一見さんは現在雜貨商を營んでゐるが廿二年滿洲から引揚げた抑留者の幸い經驗から同胞救い出しのためならばと率先して高額寄附を申込むなど本うん動に對する熱意の程を示し係員を感謝せしめてゐる

湯本町會開く

湯本町會は卅一日追加豫算の件を審議するため召集する

住宅公庫申込
十五日まで

第三回住宅金融の申込みは來る十五日までとなつてゐるが今回貸付適用地は浪江富岡、双葉、本宮、棚倉の五町が追加されたのみで何れも特定地域にのみの貸出

小名濱通信

小名濱町立高等學校が本年から縣立に昇格して發足したのは本年四月からとあるが教室が僅かに第一期工事が出來ただけで第二期工事中に此の問題が進捗したので町側では八百万圓の縣寄附で支拂ひ、縣は直ちに第二期工事を着手するに至つた、其處で第一期工事は磐城土建會社が請負である、小名濱町の最近の學校建築は兎角に災害多く其禍中かいのでは一頭地を拔いて居て七月中工事に着手、七月貴い精神の發揮である、これら脫出し得るか否かを氣遣るので落札と同時に其の工事を切つかけに明年度は特はれたが第一期工事は然かも無事に完成し資材も優良別教室三、講堂、校長住宅物だと賞讃され、請負者も出來る事になつて居るがこれとて今日までの請負者大いに面目を施した事であふ成績でひまをつけ用材も第一工事請負者に劣らないり込み、精神的に競爭裡に賀に堪へない處であつて鼓と此れ亦第三期工事の特命用材を吟味し完全なる教室に初めて教育の殿堂が完成で町側では八百万圓の縣寄たが、事實はそれに反し遂を擔つて進んだが、第三期を建てようと苦心して居るするもので地方を飾る何よりの慶事である、只この殿工事は縣廳の手で起工するなどは學校將來のためにもり堂に閉ぢ籠る松原校長初め事になつたので、これ亦當喜ぶべき一事で本校が縣立に賀に堪へない處であつて鼓となるに先立ち校舍から各教官のこれに相房はしき精神的の贈物を希つてやまぬ所である

麥を消す鮮魚類
お盆休みと時化で閑散

お盆の十六日それは古來の幾分安い、その重なる理由は前にものべたやうにお盆習慣から各職業が休みとなつて居り、殊に沿岸出漁者なかつたため市場への入何は鰹が少量で皆無、產地は宮城縣小名川もの値段は

不正請負業排除
監察官を設け取締る

勞働省では八月一日から勞働ボス排除監察官を設けて勞働界のボス排除にのり出すことになり各關係機關に其の徹底を期すべく計つてゐる、平職安でもこのほど平勞基署と協力、最近遂次ボス的な傾向にある請負各種事業場の嚴重監察を行ふことになつた、此の種の監督は廿四年までは十分行相當違反者も出てゐたが最近は激增する失業者の收拾におわれ監督がおろそかになつてゐたもので特に勞働界のボスの排擊强制勞働の排除については現在世界的な運動として盛り上がつてゐるもので今後は其の一環

シエザー師
大講演會開く

七日午後七時半より平市公會堂に於てフリーメソジスト教會主催の大講演會が開

密造酒賣つて
營業停止

廿八日午後五時頃相馬稅務署員は久ノ濱町大字末續字岸田酒類販賣業新妻ヨシ(四四)方を急激密造燒ちゆう、を販賣してゐる事實を現認家宅捜査の結果ドラム罐に詰めてある密造酒を發見した、これについて早くも村中の投書癖のある者の密告からではないが流布されてゐる事が事實で最近密造酒を販賣して卸賣店の實績低下から稅務署員係りの疑問を受けるに至つたものと云はれてゐる

疫痢で死亡

四ツ倉町本町一二九小湊久夫(四)さんは廿九日疫りと判明し卅日午前一時死亡した

商狀、經濟欄

【鮮魚】卅日現在
卸値(單位貫)
かつを　四二〇円
市況—入荷薄、人氣は保合

【青果市況】丸サ市場
きうり　五〇—三〇円
なたまめ　二二〇—一七〇円
長なす　六〇—三〇円
丸なす　七〇—六〇圓
玉ねぎ　五五—四〇円
南瓜　五五—二〇円
トマト　一〇〇—七〇円
大根　四〇—二五圓
大根葉(一束)　三—二圓
葉しようが　一八〇—一〇〇円
西瓜　八〇—六〇円
人參　二三〇—一五〇円
ごぼう　一八〇—一三〇円
赤梨(長十郎)　一六〇—一〇〇円
青梨(菊水)　一〇〇—一三〇円
りんご(四貫匁入)　一二〇〇—一〇〇〇円
市況—人氣よし

【株式市況】磐城證券30日現在
月變り期待に地方筋の買物も入り一般に强調であるが特に假上場の東邦レーヨンが高く注目を引いた外バブル製紙株が確りであつた

鋼管	公	呉羽化	天
東洋紡	三〇	苫小牧	一八六
鐘紡	一五九	十條紙	二〇九
日清紡	三五五	本州紙	三七
呉羽紡	一四四	日セメ	八五
日東紡	一七	磐城セ	一八三
片倉	七三	小野田	一四五
帝人	一八三	不動新	二六九
東洋レ	一五五	陽和不	—
新光レ	三六	關東不	—
山バル	三〇八	三越	四〇〇
東海上	五六〇	日發酒	四八〇
新郵船	二〇〇	朝菱酒	四六五
三井船	二五八	キリン	二六〇
日發	三七	寶酒造	一五三
三井山	五三	野田醬	四一五
日石	九四	豊年油	一三〇
三井造	一九五	高壓	五六
日立	四〇	日產化	六六
東北パ	二〇七	日活	一四六

人事ニュース

古市、伊藤教委石城出張所行政專門職員に三十、三十一日相馬郡中村町地方事務所において行ふ行政專門職員會議に出席、明日歸廳する
平市役所千葉社會課長は卅日社會事業委員會に出席の席のため三日に出張し六日爲縣廳へ、本日歸廳の豫定
小倉平郵便局長は來る四、五の兩日福島市飯坂で開かれる郵政省關係、赤十字關係、共同募金關係の三者合体で二十六年度共同募金の縣割當目標八百二十四万円の賣りさばき方協議會に出席の爲平へ歸廳

出生

十八日平市田町關場安昌氏長女廣子さん
二十九日平市五丁目高木賢司(三三)

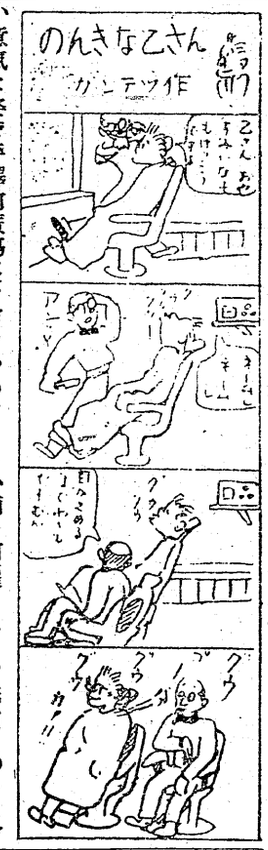
死亡

購讀申込願ひます

毎日四頁の朝刊、一紙ですべての事が分る。日本で唯一の四頁新聞

産業經濟新聞社
世界經濟新聞社

本社　東京都千代田區有樂町二ノ四
大浦村上仁井田百
福島縣販賣總局　平市一丁目三一
支局　郡山市堂前町三七
郡山支局　小名濱町松の中
小名濱分局　綴町驛前
綴分局



磐城毎日新聞社
大和田與兵衛
福島縣平市南町百番
社長
發行所
株式會社磐城毎日新聞社
編集印刷人
發行
代表者　佐藤孝遠
電話(平)一二一〇番

土木建築請負
磐城土建工業株式會社
社長　強口唯七郎
平市小太郎町
電話元・二六二・一〇三四番

至急求む
一、男子店員　二名（二十二・三才マデ）
一、寫眞助手　一名（二十三才マデ）
（經驗のない方でもよい）
一、御希望方は履歷書御持參の上御來店下さい。平市三丁目三八
田中カメラ店

各種印刷物、寫眞版の御注文は是非當工場へ
平市仲町（電話七二九番）
株式會社　大和田印刷所

恵れぬ不幸な子等へ

愛護運動三日から開く

縣民生課では來る三日全國一齊に行はれる盲聾啞兒童愛護の日をむかへ不具兒童に對する愛護心の昂揚と福祉向上にすべての國民が自己の責務として兒童の育成氣運の醸成に協力されることを要望して全縣下にその趣旨の普及をはかり廣報宣傳によつて新聞記事の提供、ラヂオの特別番組、その他の宣傳を行ふ、石城地方事務所では縣の普及宣傳に即應し地方の報導機關、ボスター、立看板を利用し郡内八百八十五名の不具兒童の愛護宣傳普及に乘り出すことになつた、市町村は各盲聾啞者の施設を訪問しておとの話會、歌の會、音樂會、玩具慰問その他繪本を贈り手紙、紙芝居、運動具、被服の洗濯修理などの慰問を行ふ事ふ

冠水田二次分けつ

收獲に影響で憂慮

平市内舊飯野地區内北白土南白土、谷川瀬の水田は過般洪水に際し一晝夜以上冠水したものが約百十町歩で内約七十町歩は二晝夜以上冠水したが二晝夜以上冠水した稻は二次分けつ（俗稱ヤゴ）する恐れがあり平地區農業改良指導所では調査中であつたが最近一晝夜以上冠水した稻作にも二次分げつが生じ甚だしい減收を豫想されるに至つたので重大視、一兩日中に實体調査に乘り出す事となつた、右につき改良指導所澤田技師は語る

二次分けつした稻は出穗が非常に遲れ穗も小さいので或る程度の減收は當然であり、若し寒さが早く來た場合には結實しない事もあるので成行きが懸念されている譯けであるが二次分けつに對しての事前割當て及び供出割當は他の病害の如く對策がないので天候に任せるより致し方ない現狀である

教育講演會

講師馬場教授

四日(月)午前九時より平二小講堂において市内小中學校教育研究協議會主催の教育講演會を開く、講師は東京文理大馬場四郎教授で演題は「單元學習の基本問題」である、當日は市内小中校教官全員が二小に參集するため授業は二日(土)に繰上げて行ふ事になつた

土地改良所長會議

縣耕地課では來る二十日午前十時から縣會議室で土地改良所長會議を開き續いて午後六時から新農地部長を迎え最初の懇談會を行い耕地事業運營について協議する

社會教育研究會

縣社會教育委員會では二十九、三十の兩日平市役所で各郡下の委員代表二十一名が出席して第四回社會教育研究大會を開き圖書館法、圖書館協議會委員の選任、文化財保護法、昭和二十六年度豫算編成その他教育の諸問題について檢討論議をなす

平市の夏祭り

教育確立の二千萬署名運動

縣教組石城支部では卅日午前十時から第五回執行委員會を開き免許法その後について、給與問題、教育財政確立の二千万人署名運動を一日で終り明一日より二學期の學業を開始する

花火大會もかねて

流燈四千夏井川を埋む

平市夏祭りの最終に於て舊日本軍閥の野望の犧牲になつた戰沒者の慰靈祭を行う事となつた、當日青年會主催の夏井川に於ける燈籠流しと花火大會を催すもので花火大會は仕掛花火及打ち揚げ花火百八十發で流燈は約四千個の豫定である、流燈に對して鎌田青年會の川施餓鬼を行つた後平神橋を中心として燈籠流しと花火大會を催すもので花火大會は平佛きよう盛大に擧行される當日は平佛きよう廿六、七の兩日青森縣弘前市設公園コートで開催の東北六縣對抗庭球大會で平クラブを主体とした福島縣チームは綜合得点二十五を上げ優勝旗を獲得した、また女子一般女子高校は全勝の成績で第一位となり優勝盃を獲得した、成績は男子高校(一位)六点、女子高校(一位)六点、男子一般(四位)三点、女子一般(一位)六点、男子一般(四位)三点、綜合得点一位二十五点

優勝盃獲得

縣對抗庭球大會

遊飲稅の說明

石城地方事務所では卅日午前九時から管内娯樂場の經營者に、午後は遊興飲食店の責任者に對して新稅法による入場稅、遊興飲食稅の說明會を開き新稅法の說明徹底を圖つた

疫痢八名發生

久ノ濱町でも

久ノ濱管内の今夏傳染病發生數は隔離收容した疫痢は八名で内六名全治現在二名が收容されてゐる、死亡は現在のところない

火藥の防犯對策を協議

火藥類防犯對策懇談會を開催、盜難防止その他について當局及び關係者で協議することになつた、五日午後一時より湯本町自治會館、六日午前九時より石城地方事務所

鐵道信號機破壞增加

二十八日午後四時から同七時までの間に常磐線富岡驛北方遠方信号機、同廣野驛場内遠方信号機の青色ガランがそれぞれ破壞されてゐるのを發見、富岡地區署に屆出た同所は去る十一日にも同線三驛に同じ樣な妨害事件が起つて居り富岡地區署では相當惡質な列車妨害として犯人の嚴重に取締りを開始した、調査の結果以外な手口も認められつゝある

パラチフスも發生

平市正月町一九ノ一三木材業渡邊政敏氏三男敏雄(三)さんは廿八日パラチフスと判明して隔離

×

平市大字上片寄字藤倉二五農大泉利喜彌氏三女房子(一三)さんは廿八日凝似赤痢と判明、隔離

×

市内五丁目一六比佐かつさん長男孝允(七)さんは腸チブスと判明

供出割當を縣直轄に

市農調委で要望決議

平市農業調整委員は廿九日午後一時より湯本小學校において小中校長協議會を開き二學期行事豫定その他について協議した

學校長協議會

廿日午後一時より湯本小學校において小中校長協議會を開き二學期行事豫定その他について協議した

慰靈祭盆踊

舊飯野地區遺族會では本日午後一時より下荒川龍門寺境内に於て舊日本軍閥の野望の犧牲になつた戰沒者の慰靈祭を行う事となつた、當日青年會主催の夏井川に於ける燈籠流しと花火大會を催すもので花火大會は仕掛花火及打ち揚げ花火百八十發で流燈は約四千個の豫定である、流燈に對して鎌田青年會の川施餓鬼を行つた後平神橋を中心として